

マテリアルバランス

マテリアルバランスは、カシオの省エネ・省資源モノづくりの環境診断書です。エネルギー・資源投入量と排出・処分量の最小化を目指す方向です。

マテリアルバランスとは

マテリアルバランスとは、事業者が自らの事業活動に対して、全体としてどの程度の資源・エネルギーを投入し（事業活動へのインプット）、どの程度の環境負荷物質（廃棄物を含む）などを排出し、どの程度の製品を生産・販売したのか（事業活動からのアウトプット）をあらわしたもので、事業者の環境負荷の全体像がつかめます。

2009 年度実績

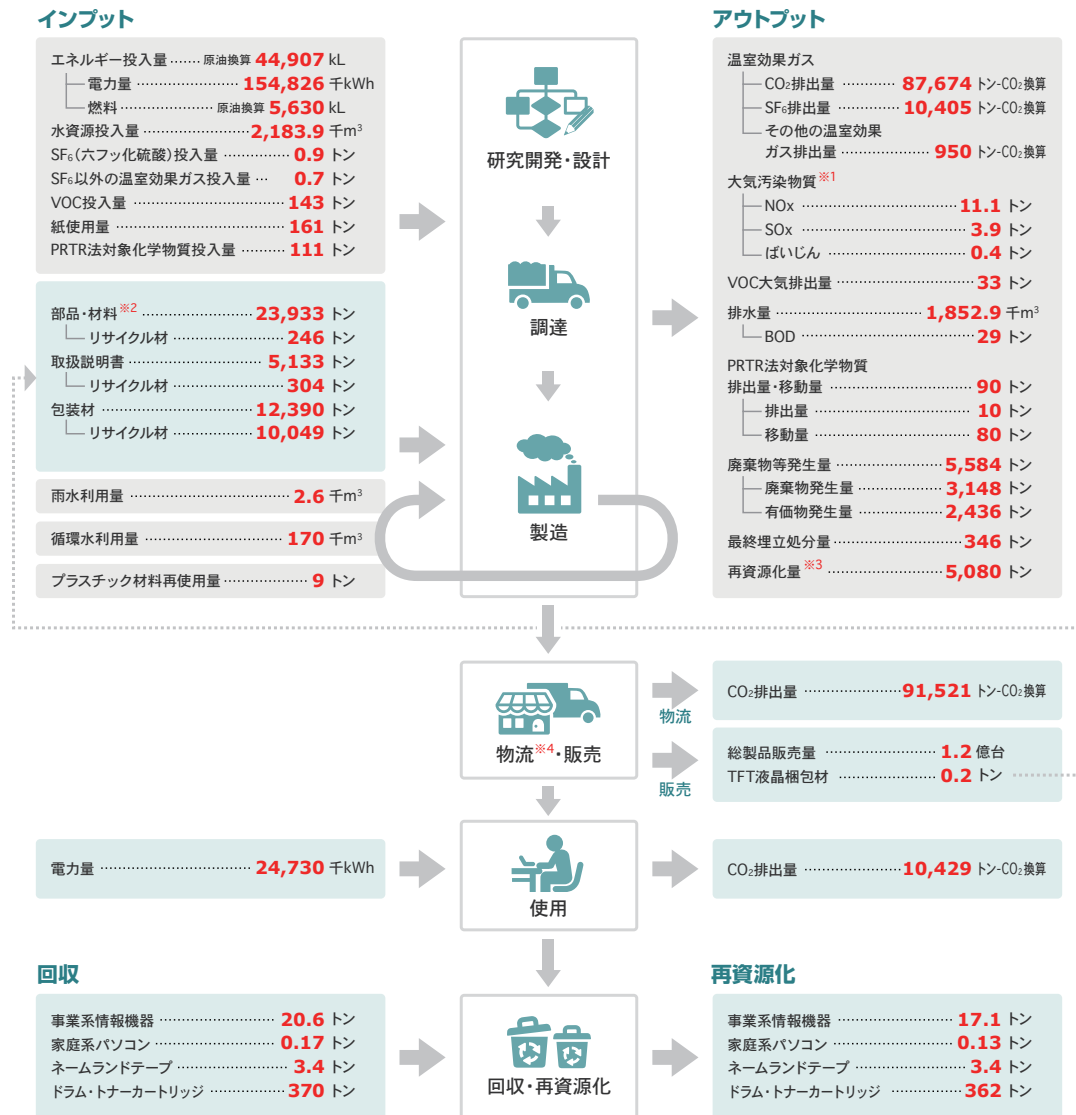
2009 年度は世界同時不況の影響の残る中、カシオグループの連結売上高が対前年度で約 17% 減少しました。これに伴い、2009 年度のマテリアルバランスも、インプット、アウトプットの多くの項目が対前年度で減少しました。

しかし、生産高が減少したため、環境行動目標にかかわる多くの原単位が悪化してしまいました。特に、国内生産拠点の生産高が大幅に減少したため、国内生産拠点にかかわる原単位は大幅に悪化しました。

今年度はデバイス事業（高知カシオ他）および、携帯電話端末事業を連結対象から切り離し、大幅な環境パフォーマンスの改善が予測されます。さらに、グループ内で、生産設備の省エネ化や生産プロセスの改善を促進して、改善を図ります。

■事業活動のマテリアルバランス (2009 年度)

■ 事業所のマテリアルバランス ■ 製品のマテリアルバランス

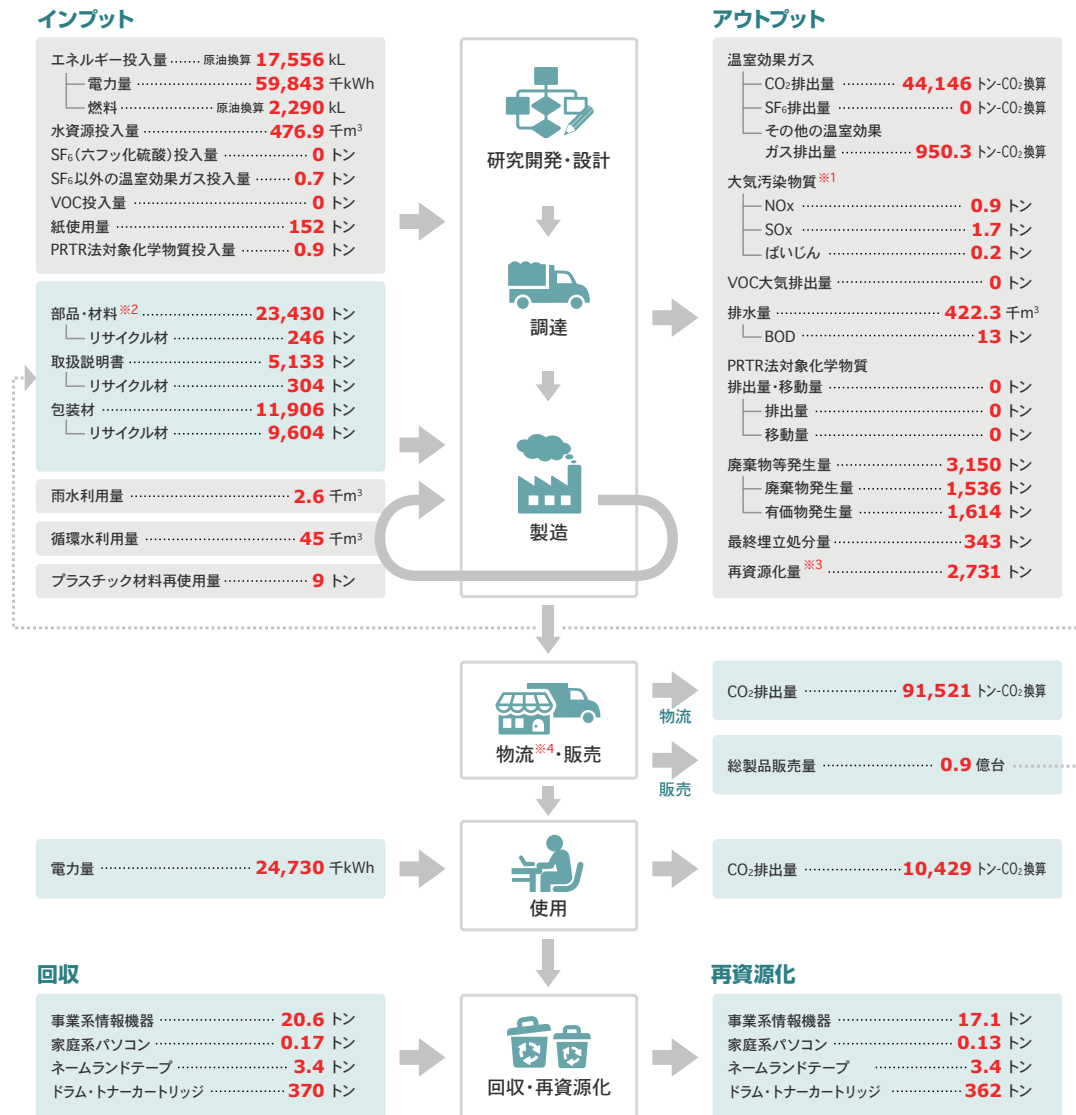


※1 オゾン層破壊物質は全廃済みです。

※2 部品・材料はトナーカートリッジなどの消耗品を含みます。

※3 再資源化量には熱回収量(サーマルリサイクル)を含みます。

※4 製品物流については輸送業者に委託しています。

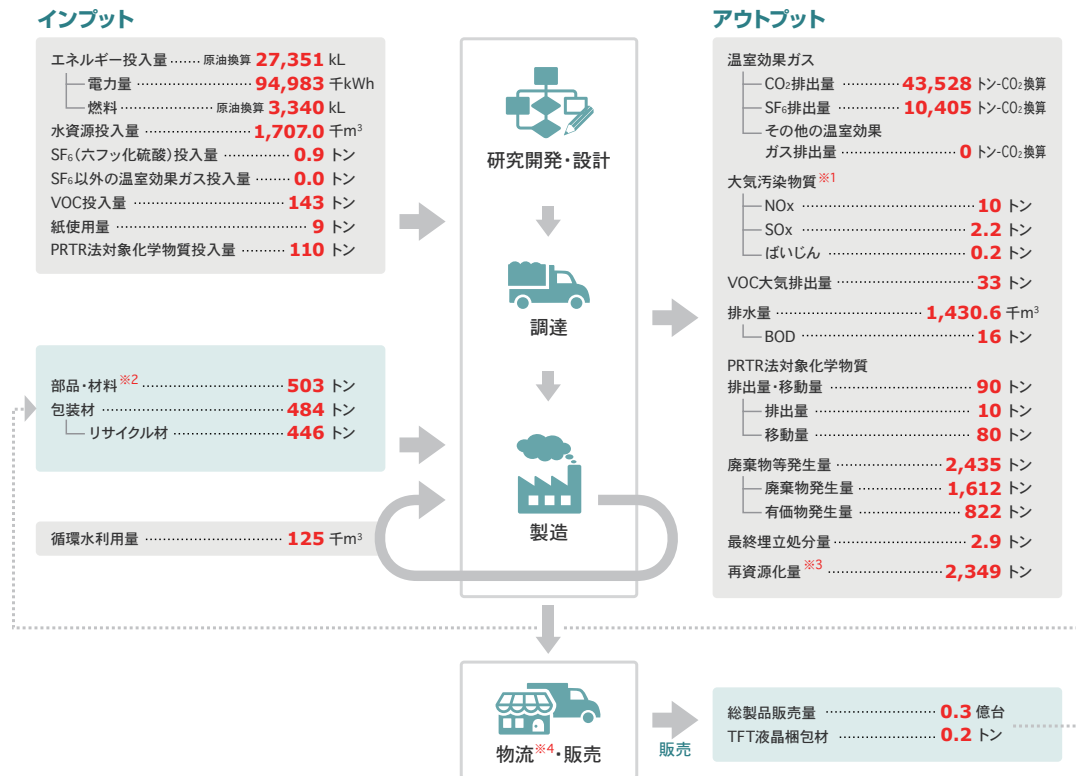


※1 オゾン層破壊物質は全廃済みです。

※2 部品・材料はトナーカートリッジなどの消耗品を含みます。

※3 再資源化量には熱回収量(サーマルリサイクル)を含みます。

※4 製品物流については輸送業者に委託しています。



※1 オゾン層破壊物質は全廃済みです。

※2 部品・材料はトナーカートリッジなどの消耗品を含みます。

※3 再資源化量には熱回収量(サーマルリサイクル)を含みます。

※4 製品物流については輸送業者に委託しています。